



広
報

みさき

町の規模		前月比
世帯数	1,877戸	(±0)
人口	5,314人	(-1)
男	2,475人	(+2)
女	2,839人	(-3)
(平成元年8月31日現在)		

平成元年9月25日	No. 142
発行 愛媛県西宇和郡三崎町	141
三崎町役場 ☎54-1111	印刷
編集 総務課	豊豫社

勇壮に速水太鼓ひびく



九月二十五日は串地区の秋祭りで、今年はこの地区の青年部が「速水太鼓」を披露しました。祭りを盛り上げました。これは自分たちの曲がほしいと思っていたところを串小学校の杉山教諭がきき、松山市に在住の大久保真澄さんにこのことを話したところ、こころよくひきうけられ作曲となりました。

名前の速水太鼓はもちろん速水の瀬戸からの命名で、八人の若衆の息の合ったパチさばきは勇壮そのもので、海に生きる男の心意気が感じられます。

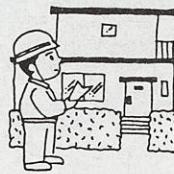
●目の愛護デー 10月10日●



輝いて
いますか
あなたの
瞳



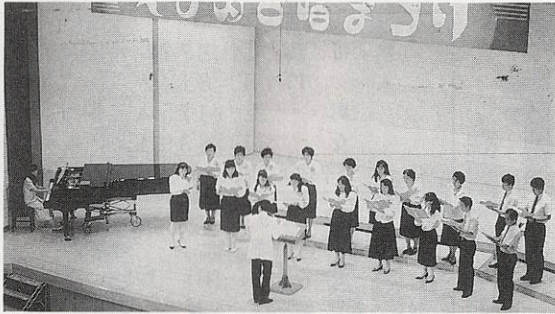
高齢者雇用促進週間



違反建築防止週間
(10月11日～17日)

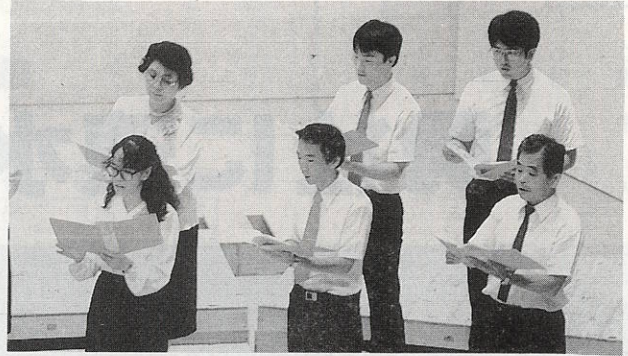


母子保健強調週間



伊方町民会館ホールにて

合唱まつりに 最優秀賞



息のあった合唱

八月二十七日伊方町民会館で開かれた八教管内合唱まつりではまゆう合唱団(代表山下展子 会員数三十一名)が、最優秀に選ばれ来る十一月二十三日、松山市で開かれる愛媛芸術祭合唱の部に出演することになりました。

代表の山下展子(三崎)さんを中心とした会員全員のチームワークで、勝ちとった出演。練習にも熱が入っています。

又、同合唱団では、来年二月に、結成十五周年を記念して、合唱祭を町内で開催する予定です。

同合唱団では、会員の募集をしています。

入会を希望される方は、山下展子(三崎町三崎、電話5412175)までご連絡下さい。

姉妹町20周年親善試合

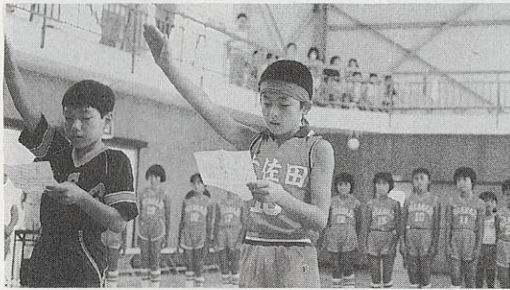
佐賀関小来町

9月9日(土曜日)午後1時30分から二名津小学校体育館において、佐賀関小学校・大佐田小学校・二名津小学校の三校が集まり、バスケットボールの親善試合が行われました。

第一回の試合とあって、選手はもちろん、先生方も緊張した親善行事であったが、子供達の一生懸命のプレーが一試合、二試合と続くうちに、コートの中はもちろん応援にかけた父兄の間でも、友好的な光景が随所にみられた。

開会では二名津小学校の児童が歓迎のあいさつを、つづいて佐賀関小学校の児童があいさつ、そうして、三校がそろって学校紹介を。

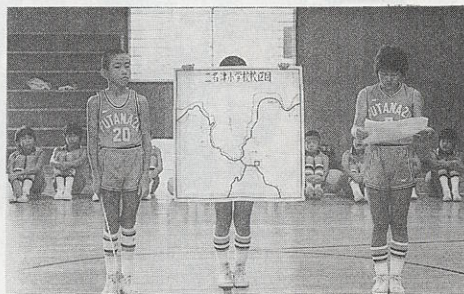
バスケットの試合後、フェリリーの発着場で、児童のエールの交歓があり、「来年も継続して交流試合しましょう」と別れを惜みました。



交流試合の開会宣言をする 佐賀関小・大佐田小



親睦とはいえ、勝負の一瞬



学校紹介をする二名津小学校児童



25クラブ参加し一斉清掃

一町内老人クラブ



草刈に汗する老人

九月二十四日、町内二十五の老人クラブ(会長清家岩雄、会員千八百四人)が、参加して清掃奉仕を行いました。

これは、全国の六十歳以上の人々が会員となっている「全国老人クラブ連合会」(本部、東京、灘尾弘吉会長、会員数八百三十万人)が、敬老の日と老人福祉週間(十五日～二十一日)に関する感謝行事の一環として二十日、全国の駅や道路を中心に一斉に清掃運動を展開したのにちなんで町の老人クラブも「社会奉仕の日」と銘打って行いました。

町社会福祉協議会の調べでは、四百五十人の参加があり、町内各地の清掃や空き缶・ゴミ拾いなどを行いました。

長生きしてください! 町長長寿者を慰問



いつまでも 長生きしてください。

「敬老の日」を前にと声をかけると「ありがとうございます」と返事をすると「お返しをします」と返事をしました。二日の二日間にわたって、菊池町長は町内の九十歳以上（二十一）の長寿者を訪問しました。

町内では九十歳以上の長寿者が二十一人中で女性が十五人と、圧倒的に多く長寿者の女性上位は三崎町でも例外ではありませぬ。

平成元年老人福祉週間行事として次の行事が行なわれました。

○敬老会（十五日、大佐田地区・十七日）町内に在住する数え年六十五歳以上の者。

○高齢者手帳交付、満六十四歳になる与侈の二宮ツヨキ者。

○町民養老金支給 九月一日現在、満八十歳以上の者

○長寿者祝品贈呈 一、満九十一歳以上の長寿者（

九月十五日現在）に対し、町長が訪問して祝品が贈られます。

一、夫婦共長寿者で九月十五日現在の夫婦平均年齢が八十一歳以上となる夫婦に町長より祝品が贈られます。

○県として、

一、米寿を迎える長寿者（数え年八十八歳明治三十五年中に出生した者）に知事より祝品（木杯）が贈られます。

一、数え年百歳以上の長寿者に知事又は代理者が訪問して祝品が贈られます

一、満百歳に達する長寿者に対し内閣総理大臣から祝状及び記念品（銀杯）が贈呈されます。

町内の長寿者の方々には別表のとおりです。

いつまでもいつまでも健康で長生きしてください。



住所	氏名	年齢
正野	清水 角治	93歳
〃	阿部 フジ	93歳
〃	阿部 リン	91歳
〃	山内 トラ	91歳
串	加藤 ヒヤク	93歳
与侈	下宮 タメ	93歳
〃	二宮 ツヨ	95歳
杉山	山田 亀藏	94歳
	クニ	91歳
札幌	菊池 クマ	91歳
高浦	小林 サキ	95歳
大佐田	小西 ヤス	91歳
井野浦	大瀬戸 伊勢松	93歳
二名津	亀井 アキノ	95歳
〃	山西 ツナ	94歳
〃	長生 ツマ	93歳
松	音地 助藏	92歳
〃	音地 ヤス	93歳
〃	垣内 源六	92歳
平磯	河野 タカ	92歳
釜木	鶴井 寅松	91歳



長寿 おめでとうございます



子供達もお祝に千羽鶴



区長さんに 老人クラブ会長から謝辞

十五年ぶり ドカ雨

台風19号の影響で、秋雨前線が刺激され、十二日から十三日にかけて、十五年ぶりの大雨が襲った。

同日中に二度の大雨洪水警報が出、消防団など警戒体制をされました。

降り始めからの雨量は三百二ミリの達し、昭和四十九年の三百九十八ミリの大雨に次ぐ記録的な雨量でした。

三崎大川・二名津大谷川など町内各河川が氾濫し各地区で床下・床上浸水がある一方道路も国道・県道・町道とも被害があり、河川・農産物など被害額は、一億三千四百万円にも及びました。

更に、九月十九日に追打ちをかける台風22号が発生し襲撃。一時間七九ミリと記録的なドカ雨が降り、十三日に続く被害が

土砂くずれでつぶれた人家 (名取)



土のう積をする (消防団)

ありました。名取地区では、十九日夜半に人家が土砂くずれによって、押しつぶされましたが、さいわい、ケガ人などはありませんでした。

ちなみに、19号・22号の両台風により受けた被害は、床上浸水十四世帯、床下浸水百十八世帯、道路の欠壊二十ヶ所(町道十ヶ所・国・県道十ヶ所)、河川二十三ヶ所(町管理六ヶ所)、がけ崩五ヶ所・農道八ヶ所で被害額は農産物被害を合すると、三億一千五百三十七万九千円にも達しました。

第13回 南予地区愛媛県まつり (宇和島会場)の御案内

県産品を紹介し、その愛用を促進するため、11月4日(土)～5日(日)の2日間、宇和島銀天街において『第13回南予地区愛媛県産品まつり(宇和島会場)』が開催されます。

会場では、地域の特産品等が展示・即売されますので、御近所お誘い合せのうえ、ぜひ御来場下さい。

※ 日時 11月4日(土) 午前11時～午後5時
11月5日(日) 午前10時～午後4時

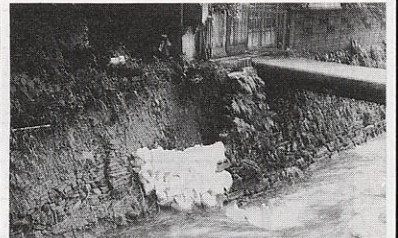
※ 会場 宇和島銀天街(アーケード街)

なお、詳細については宇和島地方局商工労政課までお問い合わせ下さい。

電話 0895-22-5211



運動場・教室に水が浸入 (三崎中学校)



激流による河川の欠壊二名津大谷川

安全に 伊予路を走る さわやかさ — 秋の全国交通安全運動展開 —

九月二十一日から三十日の十日間、秋の全国交通安全運動が各地で繰り広げられています。

本町でも、交通安全パレード(二十一日 串・与修小学校のバレード)街頭指導(二十六日・三十日の二日間)、交通安全茶屋(二十八日)等の行事が行われています。

運動のスローガンは、安全に伊予路を走る さわやかさで三つの運動重点があります。

- 一、高齢者の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止
- 二、若年運転者による無謀運転

の防止 三、正しい方法によるシートベルトの着用の徹底です。

二十一日行われた交通パレードでは船山会長他交通指導員、安全協会理事、駐在所の部長さんなど三十名の参加のもと町内を一周し、安全を呼びかけました。

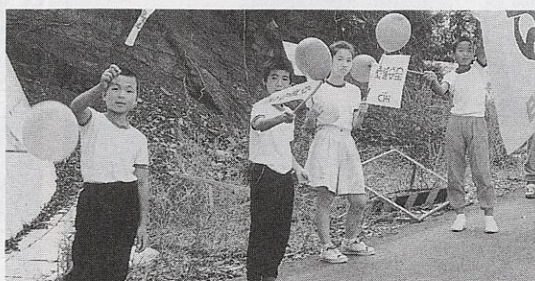
運動期間中だけでなく、一人一人が交通マナーを守り、事故防止につとめましょう。



出発式



17台の車が参加したパレード



パレードを歓迎する正野小学校児童

1日救急隊長に任命された垣内照美さん



左は分署長さん

一日救急隊長に 垣内照美さん

この日は午前十時三十二分、高浦に救急出動の要請が一件あり、垣内さんは隊長として見事に任務を遂行し、大役を果しました。

九月五日から九月十三日までの九日間に実施された医療週間(主催・八幡浜地区施設事務組合消防本部)の行事の中で、七日二名津診療所の垣内照美さんが、一日救急隊長に任命され、第一分署に勤務しました。

第一分署では分署長さんをはじめ署員全員の方から歓迎され好評でした。

- 一、防火広報車による広報活動
- 二、一市五町の九月広報誌による掲載
- 三、ポスターの配布
- 四、一般家屋調査時にパンフレットの配布
- 五、アンケート調査
- 六、医療機関との懇談会
- 七、一日救急隊長の任命

一日救急隊長日程表

平成元年9月7日～9月13日まで

時間	内容	救急出動	場所	担当者
9:00	救急隊長辞令交付式	救急体験出動	消防長室	消防長
12:00	消防署署内見学		署内	当務小隊長
	救急通信指令システム説明 救急隊と応急処置訓練		通信室 仮眠室等	当務救急分隊長

救急医療心得

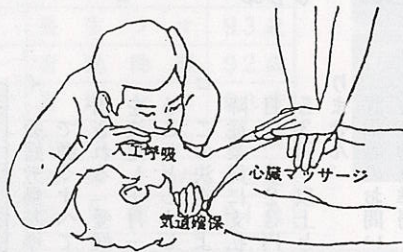
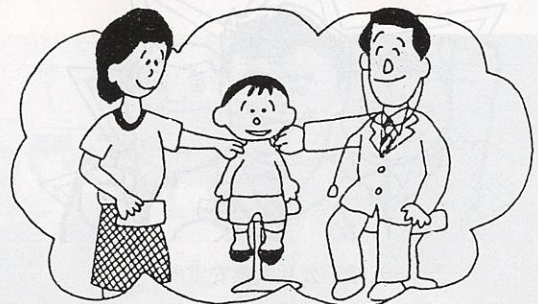
急患センターの診療時間

平日20時～23時まで 日・祝日9時～23時まで
木曜日は休みです
わからない時は消防署22-0448
急患センター24-1199

1 日頃から栄養・運動・休養のバランスを
・考え、自分の健康は自分で守りましょう。



3 なんでも相談できるかかりつけの医師を
・もちましょう。



2 いざという時のために正しい応急手当
・の知識を身につけておきましょう。

昭和六十三年十二月二十三日に「遊漁船業の適正化に関する法律」が制定され、平成元年十月一日から施行されることになり、届出が必要となりました。

遊漁船業者の皆様へ

一、遊漁船業とは
船舶により利用者を漁場に案内し、釣りや磯渡し等を行なう遊漁船業としています。

二、遊漁船業者の届出とは
営利を目的とする遊漁船業者は都道府県知事に届出をしなければなりません。

届出をせず、遊漁船業を続けていると30万円以下の罰金が課せられます。

三、遊業船業者のその他の義務とは
(ア) 遊漁船業者は、利用者名簿を備え置き、これに利用者の氏名、住所などを記載しなければなりません。

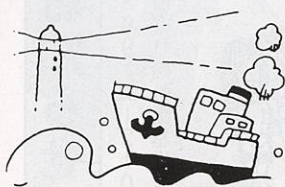
(イ) 遊漁船業者は、気象・海象情報を集め、安全が確保できないと判断されるときは、遊漁船を出航させてはなりません。

四、届出の方法
遊漁船業を営もうとする者は「遊漁船業届出書」に必要事項を記載して、漁業協同組合員であれば漁業協同組合へ届出し、組合員以外の者は三崎町役場に届出をして下さい。

なお届出書の用紙は、三崎町役場及び三崎漁業協同組合に備えてあります。

詳細は、役場産業課か、三崎漁業協同組合へお問い合わせ下さい。

電話 役場産業課
54-1111(内線49・51)
三崎漁業協同組合
56-0111



労働保険適用促進月間 10月1日～10月31日

「雇用保険の加入手続は お済みですか」

雇用保険は

- 失業給付
- 失業の予防
- 雇用講造の改善
- 労働者の能力開発及び向上
- 労働者の福祉

に関する事業を行います。

加入は

全面適用で、労働者を雇用する事業所はすべて加入しなければなりません。

加入手続は

公共職業安定所、商工会等または社会保険労務士へお尋ね下さい。



八幡浜公共職業安定所
☎ (0894) 22-4033

10年の文化の灯

あかり

いま ふるさとに

第10回町民文化祭が11月4日(土)・5日(日)の両日、三崎町文化協会・三崎町教育委員会の主催で、町民会館・生活改善センター・小中講堂・グラウンドを主会場にして盛大に開催されます。町民多数の出品・見学を願います。文化祭の問い合わせは教育委員会まで。



10月は高齢者

雇用促進月間です

“人生80年、定年は60歳が主流です”

高齢者が、その労働能力を十分發揮し、生きがいのある職業生活が送れるよう六十歳定年を基盤として六十五歳程度までの雇用就業の機会を図りましょう。

高齢者の就職、雇用、各種援護制度については、職業安定所にお問い合わせ下さい。

八幡浜公共職業安定所

☎ 0894-22-4033



最低賃金改定のお知らせ

1 愛媛労働基準局では、県内(☎0899-2512101)で働くすべての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」を決定し十月一日から実施することとしました。

口 この決定により十月一日以降従業員に支払う賃金は、一日3,623円(1時間) 453円)以上としなければなりません。

詳細等のお問い合わせ先 愛媛労働基準局 賃金課

事業主のみなさまへ

労働保険の加入は

おすすめですか

平成元年度

労働保険適用促進月間

労働省では、十月一日から十月三十一日までを労働保険適用促進月間と定め「幸せの明日をささえる 労働保険」の標語のもとに労働保険未手続事業の解消を全国的に展開しております。未手続の事業主の方、労働保険の加入手続は早めに労働保険についての御相談・問合せ等は愛媛労働基準局労災補償課(〇八九九一二五一二)へ。又は、最寄りの労働基準監督署へ。

(愛媛労働基準局)



山本久光氏 愛媛県スポーツ少年団 優秀指導者表彰受賞



八月十九日愛媛県スポーツ少年大会にて、三崎町スポーツ少年団指導者山本久光氏(三崎町体育協会副会長)が、愛媛県スポーツ少年団優秀指導者表彰を受けられました。

この賞は、スポーツ少年団の振興発展に貢献し、その功績が顕著であるものに贈られます。山本氏は、長年三崎町スポーツ少年団の指導に当り、実技・理念共に他の模範となり、六十三年の愛媛県スポーツ少年団ソフトボール大会においてプロック優勝したのが大きく評価され、優秀指導者賞が贈られました。

10月の休日急患診療予定表

10月	診療所名	電話
1日	二名津診療所	54-0743
8日	山下医院	54-0073
10日	門田医院	54-0034
15日	申診療所	56-0032
22日	三崎診療所	54-1050
29日	二名津診療所	54-0743

※変更の場合がありますから、ご利用の際には確認して下さい。

卓球男子2連覇 壮年男子ソフトも2年ぶり

第9回西宇和郡体育祭が、9月3日・10日の二日間にわたって保内町で行われました。

今年は雨のため、日程が変更となり、卓球・バレーボール・バトミントンの各競技が同月3日に、ソフトボール、テニスが同月10日に行われ、卓球男子の部、壮年ソフトボールの部がそれぞれ優勝しました。

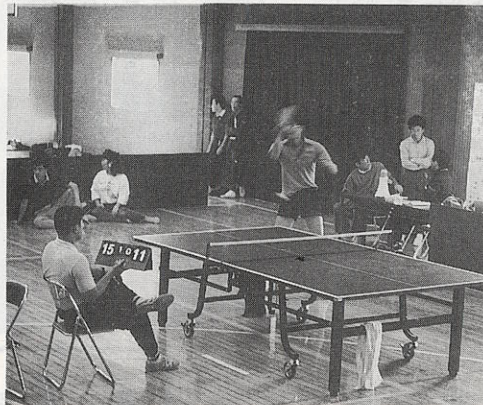
卓球は保内町に3:2と接戦の勝利、決勝戦では、常勝三瓶と対し、3:2と辛勝し2年連続優勝。

壮年ソフトボールの部では、同月10日に保内中学校グラウンドで行われ、一回戦不戦勝、準決勝は強豪保内町と対戦一回の表裏を繰り返すと二回5点と追加点、後半5回・6回と点をかさね、13:2と大勝。

決勝戦は、三瓶町と対し、初めに3点を先取るも、その裏2点を返され、いやなムードであったが、高田投手の好投により2:3・4回と得点を許さず5回の表に4点を追加し、つき放した。

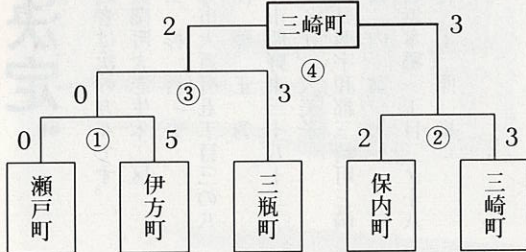
その他三崎町が出場した競技は、軟式庭球(伊方町と1:2)、ソフトボール30代(準決勝三瓶町と4:6)、バレーボール男子(準決勝三瓶町に0:2)

バレーボール女子1部(一回戦保内町に0:2) バレーボ

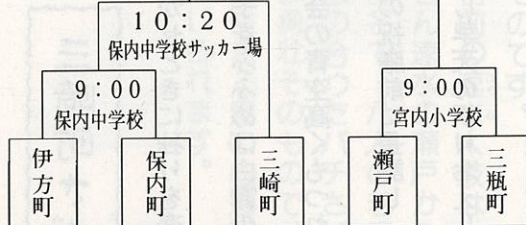


ル女子2部(準決勝三瓶町に0:2)の各チームが出場したが健闘むなしく敗れた。

卓球(男子) 保内中学校体育館



壮年ソフトボール 保内中学校サッカー場

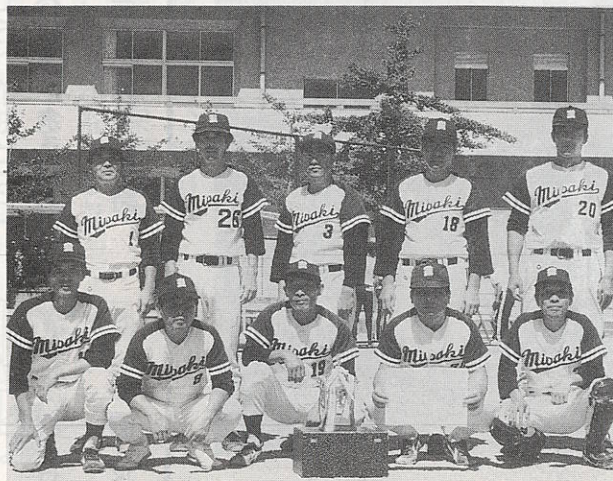


第4回戦(準決勝)

	1	2	3	4	5	6	7	計
三崎	1	5	0	0	5	2		13
保内	0	2	0	0	0	0		2

決勝戦

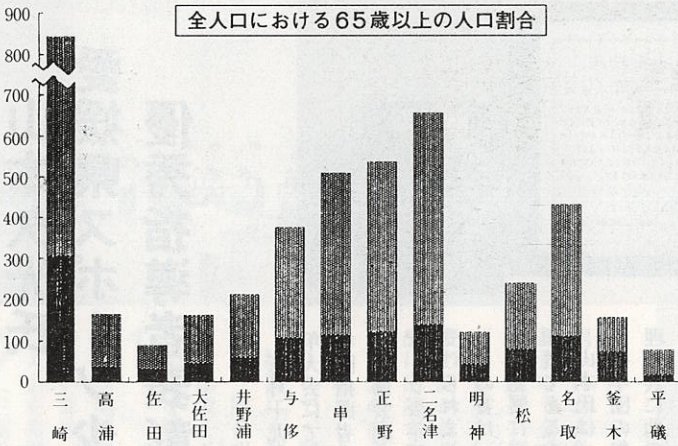
	1	2	3	4	5	6	7	計
三崎	3	0	0	0	4			7
三瓶	2	0	0	0	1			3



人の動き

平成元年八月一日から同年八月三十一日の間、住民課窓口において取り扱いました、結婚・出生・死亡・転出等の件数をお知らせいたします。

- 結婚 一組
- 出生 三人
- 転入 十二人 (女三人)
- 転出 十二人 (男六人・女六人)
- 死亡 四人 (男二人・女二人)



元年8月末人口
65歳以上人口

	三崎	高浦	佐田	大佐田	井野浦	与修	申	正野
65才以上人口	309	39	33	46	59	106	115	125
8月末人口	1547	169	91	165	214	377	512	540
	二名津	明神	松	名取	釜木	平磯	合計	
65才以上人口	141	44	79	114	75	18	1303	
8月末人口	658	124	242	434	1611	80	5314	

“ニュー豊予に決定”

五月から募集していた、平成二年二月就航予定の、国道九四フェリー三崎・佐賀関間の新しい船の名前が決まりました。

応募総数は五十六通で、佐賀関・三崎はもちろん、新居浜市などからも応募があり五名の方が当選しました。

当選者には国道九四フェリー株式会社より記念品として、ニュー豊予の試乗券が配布される予定です。

当選者は次の方々です。

- 佐賀関町大志生木二区 上杉哲夫
- 大分市大道町五丁目三の八 佐藤正秀
- 大分市明野東三十八一丁目 得守久美子
- 愛媛県西宇和郡三崎町三崎 藤内富夫
- 新居浜本郷一丁目三ノ十八 村上照雄

詰将棋

ヒント
カナメの▲3四桂に威力を発揮させてください。

▲持駒 飛金銀桂
△持駒 飛金銀桂

▲11手詰め

▲4二かまで

解答

▲1 王手
▲2 桂
▲3 桂
▲4 桂
▲5 桂
▲6 桂
▲7 桂
▲8 桂
▲9 桂
▲10 桂
▲11 桂



三崎町さざなみ旬会

虫鳴かせるときに独りを楽しめる 中谷段々子

京菓子をふふめば白露のごとき愛 梶谷すみれ

運動会の青空高くもつれ蝶 金森久栄

敬老の祝膳前に長話し 宮本マサ子

露清し早天の祈りおえし朝 結城時彦

蜻蛉のときどく通る窓広し 池上馨

露に濡れ背丈に余る草刈れる 是沢岩兼

星祭り病者の綴る一行詩 森橋長次